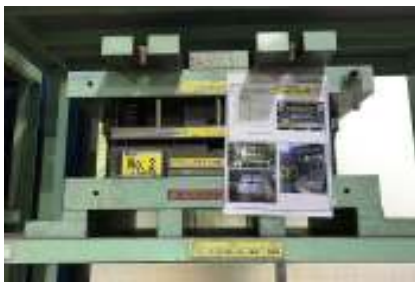




今月は順送チームのK・Kを紹介します!!

まずは、『見える化』のKKです。



金型に貼り付けてあるのは「作業レイアウト写真」です。製品によっては「ブランクレイアウト写真」もあります。



詳細はこんな感じ。センサーやシュータの設定が判るようになっています。



パレットに並べるレイアウトも写真があれば迷いません。

ブラケットの外形はバーリングの下穴など小径の穴が多く、パンチが折れたり、かけたりすることがありました。

穴の数を数えたり、サンプル品と重ねて両面から確認したり、検査していましたが、手間と時間がかかっていました。

つぎは、『検査』のKKです。



パンチ折れ確認ゲージを作成しました。

作業中、ゲージの上に製品を重ねるだけ。パンチ折れで穴が空いてない場合は、ひと目で発見することができます。

(おまけ) 順送ではありませんが、表示を楽にするKKです。



メッキや塗装に出す時のエフです。手書きで書くのは時間がかかりそう。



ラベルプリンタを導入しまして、



こんなラベルを作る事ができます。エフに貼れば、手書き不要。品名やコードの間違いもありません。

どの指示分のエフ用ラベルを作成するか、どうやって指示書と連動させるか、運用について、もう少し検討が必要ではありますが、実現させたいと思います。他にもラベルプリンタ活用のアイデアなどありましたら、若原までご一報ください。

管理課 若原 鎬一